

令和5年度 事業計画

(2023年4月1日～2024年3月31日)

社会福祉法人を取り巻く状況

新型コロナウイルスは、新たな変異株に変質しながら、第6波から第8波と到来し、そのたびに多くの社会活動が縮小を余儀なくされ、更には、混とんとする国際情勢を起因とする物価の高騰や、経済の停滞感から法人を取巻く経営環境は厳しいものとなりました。

当法人におきましてもコロナ感染第8波では、集団感染も発生する事態となり、感染予防の徹底と法人内部の応援体制により収束に向いましたが、その間の新規施設入居者、利用者の減少による収入減、抗原検査キット、ゾーニング構築等のコロナ感染対策費の増加による経費増により厳しい法人運営となり、その影響を未だ払拭できていない状況です。

国は、新型コロナの感染症法上の位置付けを5類に移行することを決定し、今後の対策が進められています。マスクの着用は個人の判断に委ねるなど通常的生活への試みが進む中、事業者として感染対策をいかに新しい手段で講じるかなど課題は山積しています。

また、2022年の全国消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比で2.3%上昇し、更に本年1月の消費者物価指数は、4.2%上昇となり41年4か月ぶりの高い伸び率となっています。これは、原材料高に伴う値上げが多方面に拡大し、特に食料品は価格を再度引き上げられることも多く、右肩上がりの光熱費とともに物価の高騰が与える施設経営への影響は大きく、収支の改善は急務となっています。

様々な課題に向き合いながら、安定的な法人運営に努め、地域住民の皆様の期待に応えられるよう、法人運営のリスタートの体制を早急に整えることが重要と考えています。

当法人も加盟します全国社会福祉法人経営者協議会は、今後の事業展開を未来志向で臨む必要性を指摘し、地域ニーズを敏感に捉え、新たな価値を創造する事業展開を**多角化、多機能化**で進めるよう進言し、その視点を次のとおり説明しています。

視点① 多様化・複雑化する地域ニーズに対応して、事業の多角化・多機能化を志向するのは社会福祉法人の**本来的な使命**である。

視点② 報酬改定や制度改正など影響を受ける現行の社会福祉事業の性格上、種別やサービス類型の多角化・多機能化は、経営リスクを分散させ**経営基盤の安定化**のためにも必要である。

視点③ 施設経営モデルから脱却し、地域住民をはじめ様々な主体との連携のもと、**地域共生社会の実現**を主導するためには、既存の制度分野を超えた多角化・多機能化が必要である。

当法人といたしましても、ご利用者や地域ニーズと当法人の強みとの適合関係を分析しつつ、地域福祉の充実と経営基盤の安定化のための方策を追求していきます。

I 梓の郷の基本姿勢

1 ご利用者様に対する基本姿勢

「わたしらしく、いつまでも」の基本理念のもと、ご利用者を常に尊重し、サービスの質の向上や環境改善に積極的に取り組みます。

2 社会に対する基本姿勢

社会福祉制度に基づくサービスを的確に提供するとともに当法人の持つ強みを発揮し、情報発信に努め、地域とつながりながら積極的に活動していきます。

3 マネジメントに対する基本姿勢

透明性のある組織の構築と経営基盤の安定を図り、並びに職員満足度を高めるための環境づくり、人材の確保と育成を強化します。

II 重点目標及び行動計画

令和5年度は、当法人が定めました第2期中期事業計画の最終年度にあたります。

中期事業計画に定める重点目標及び行動計画を検証し、引き続き取り組みます。

4年度は、報酬引上げなどの処遇改善、各種研修による人材育成、働きやすい職場づくり、働きがいをサポートする体制づくりに努めました。今後は、施設の改修、修繕などを計画的に取組み、安定的な運営と収益確保のための組織づくり、計画づくりを進めます。

小規模多機能さんぽみちは、順調に登録者数を伸ばし、コロナ禍でも比較的、安定した収益を確保していますが、小規模多機能という施設の特色の浸透が不十分であるため、「よりみち」とともに施設の情報を発信し、地域が元気になる取組みと地域に貢献できる事業を進めます。

また、2024年の介護報酬改定を見据え、「科学的介護」に関する加算とその他加算の取得に努め、又、介護保険事業及び保険外事業を組み合わせさせた企画の立案を検討します。

1. 重点目標及び行動計画

第2期中長期計画の政策推進の基本方針に沿った施策展開や重点目標の達成を図るとともにウイズコロナ社会への対応、物価高騰などへの対応策など時代の局面に的確に対応すべく喫緊課題として掲げ、迅速に取り組みます。

喫緊課題 (1) ウィズコロナ社会への対応策

- コロナ対応の検証と今後の感染症対策に向けた取り組み
- コロナ禍で生じた危機管理上からのBCP（業務継続計画）のアップデート
- コロナ禍からの経営改善策の取り組み
 - ・稼働率低迷を改善し、収入増加策の実行
 - ・コロナ対策経費及び事業効率化による適正経費の見直し
 - ・離職防止と人材育成の取り組みの推進

喫緊課題 (2) 物価、エネルギー価格高騰による適正化

- 物価、エネルギー価格高騰に伴う経費見直し及び販売価格の適正化の実施
 - ・事業所の収支改善計画の作成

重点目標 (1) 内部管理体制の再構築

ア 法人本部の設立と役割分担の明確化

- 中長期的な計画づくりと執行体制の構築
 - ・計画的な施設改修計画の立案と修繕計画の実行
 - ・職員参加型による第3期中長期事業計画の策定
- 働きがいのある職場環境づくり、キャリアアップモデルの構築、情報発信等
 - ・キャリアアップ制度の再編、定期異動等人事制度の構築
 - ・HPの見直し、インスタ発信に係る目標設定等による広報の充実化

イ 事業運営管理の見直し

- PDCA サイクルによる先行管理型の KPI 管理の継続
- 内部監査の継続及び第三者評価を全事業所にて定例化

ウ 業務改善の実行

- ICT 導入と外注化による効果の検証とカイゼン活動継続のための仕組みづくり
 - ・テクノロジー機器の導入

重点目標 (2) 小規模多機能型居宅介護さんぽみちとコミュニティスペースよりみちの運営の安定化

ア 小規模多機能型居宅介護さんぽみちの運営の安定化

- 施設の事業特色を明確、簡潔に周知し、利用登録者の獲得
 - ・DM 発送、定期営業、CM 及び地元住民への勉強会の実施
 - ・さんぽみちケーススタディ使用による広報ツールの作成
- 病院からの入退院利用者の支援を強化

イ コミュニティスペースよりみちの立ち上げ

- 地域の方々が元気になる取り組みとしての地域貢献事業を継続、地域ニーズの把握
 - ・法人主催の市民公開講座の実施、総合相談窓口の開設
- 対象範囲を拡大し、より一層の梓の郷ファンづくりを推進
 - ・子ども向け、男性シニア向けの取り組みに着手

ウ 事業の浸透拡大

- 利用ニーズ地域ニーズを的確に把握し、新規事業を開拓
 - ・さんぽみちサテライト事業、クッキングデイの立ち上げ
- 第9期介護事業計画に向けた新規事業の企画立案

重点目標 (3) 介護報酬改定に伴う事業の見直し

ア デイサービスの事業の見直し

○介護予防分野のサービス分析の検討及び新規事業の検討

- ・遊休施設を利用したデイサービス事業、送迎車両、休業日の有効活用

イ 栄養ケアステーションの設置検討について

○栄養ステーションに関する研究会の立ち上げ

ウ 各種加算の取得検討

○各種加算に伴う LIFE 導入研修会の実施

- ・介護報酬改定に向けての準備活動

2. 基本事業

当法人は、次の12事業を基本として本年度の活動を行います。

- (1) 介護老人福祉施設サービス事業(特別養護老人ホーム)
サルビア:定員 100 名、10 ユニット(1 ユニット 10 名)
- (2) 短期入所生活介護事業(ショートステイ)
特養サルビアの空床利用型
- (3) 認知症対応型共同生活介護事業(認知症対応型グループホーム)
サルビア:定員 9 名、1 ユニット
- (4) 居宅介護支援事業
ケアマネジャーによる居宅支援
- (5) 訪問介護事業
訪問介護員による訪問介護
- (6) 住宅型有料老人ホーム事業
あんじゅり:定員 25 名、泉の里:定員 19 名、愛香里:定員 20 名
- (7) サービス付き高齢者向け住宅事業
千歳緑:定員 20 名
- (8) 施設訪問介護事業
訪問介護員による当法人運営施設向け訪問介護(4 箇所の事業所)
- (9) 通所介護事業
デイサービス美事(みごと):定員 38 名
- (10) 事業所内保育所
さるびあ:定員 12 名(3 歳未満児対象)
- (11) 小規模多機能型居宅介護
さんぽみち:定員 29 名
- (12) 地域における公益的な取組
おたっしやカフェ(認知症カフェ):毎月 1 回
コミュニティスペースよりみち:随時

3. 理事会・評議員会

今年度の理事会・評議員会は次の予定で開催します。

(1) 理事会

5月と3月の年2回を原則とし、必要に応じて臨時の理事会を開催します。

(2) 評議員会

6月と3月の年2回を原則とし、必要に応じて臨時の評議員会を開催します。

4. 運営推進会議・運営懇談会・家族会

(1) 運営推進会議

グループホーム及び小規模多機能型居宅介護において、利用者やサービスの実施状況、評価への取組状況などについて報告や話し合いを行うため、家族代表、地域代表、民生委員、地域包括支援センター職員などが参加した運営推進会議を2ヶ月に1回開催します。

(2) 運営懇談会

住宅型有料老人ホーム3施設とサービス付き高齢者向け住宅において、入居者の方々の意見、要望を管理運営に反映させ、業務を円滑に行うため、施設と入居者、ご家族、地元民生委員からなる運営懇談会を年1回開催します。

(3) 家族会

介護老人福祉施設サルビアにおいて、入居者の日頃の暮らしぶりや取組みなどについての報告、サービスについての意見交換、ご家族同士の交流の機会として、フロアごと年1回開催します。

5. 年間行事予定

- (1) 四季折々のコンサートや歌謡ショー、正月飾り、繭玉づくり、豆まき、ひな飾り、お花見、五月人形、菖蒲湯、七夕、敬老会、やきいも、クリスマス、餅つき等、季節の行事やイベントを実施し、その他、レクリエーションや外出などを適時企画・実施します。
- (2) ご入居者、ご家族、ボランティア、地域の皆さんと共に行う行事を適時実施します。
- (3) 特養サルビアを中心に、9月にサルビア祭りを開催します。
- (4) 広報誌「あつとホーム」だよりを年2回発行します。

6. 事業所事業計画

各事業所の事業計画は次のとおりです。